

施設案内図



東部清掃施設組合 汚泥再生処理センター

〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇964番地
TEL・FAX/098-943-4421

事業主体

東部清掃施設組合

〒901-1301 沖縄県島尻郡与那原町字板良敷1612番地
TEL/098-946-3014 FAX/098-946-6072

設計・施工監理



〒812-0013 福岡市博多区博多駅東二丁目13番34号
(エコービル7F)
TEL/092-451-6528 FAX/092-472-1799

設計・施工



〒559-8559 大阪府大阪市住之江区南港北一丁目7番89号
TEL/06-6469-0001 FAX/06-6469-0002

東部清掃施設組合 汚泥再生処理センター



自然環境との調和を図り、環境保全に万全を期した施設です。

ごあいさつ



東部清掃施設組合 管理者
与那原町長
古堅 國雄

本組合圏域（西原町・与那原町・現南城市佐敷地区）で排出されたし尿及び浄化槽汚泥等は、昭和49年から東部清掃施設組合西原処理場で処理を行ってまいりましたが、当施設は老朽化のため、将来にわたって処理対応が難しく、安定的な処理をしていくためにも新しい汚泥再生処理施設の整備が急務でありました。

このような状況を踏まえ、平成24年5月に循環型社会形成推進計画を策定し、環境省の交付金事業として平成25年8月から現地での建設工事を開始し、このたび「汚泥再生処理センター」としての完成を迎えたものであります。

「汚泥再生処理センター」は、西原町と与那原町、南風原町、中城村、北中城村のし尿及び浄化槽汚泥等を最新の処理技術を用いて、環境負荷の低減を図ることはもちろんのこと、安定的・衛生的に処理するだけでなく、脱水した汚泥を助燃剤化することにより、焼却施設でのリサイクルが可能となります。また、従来からある「し尿処理施設」のイメージを一新し、処理水槽や機器類を全て建物内に収めることにより、周辺環境との調和を図り、悪臭、騒音、振動対策など最新の防止策を備えた施設となっています。

今後、施設が生活環境の保全及び公衆衛生向上のため、大きく寄与できますよう管理運営に一層の努力をしていきます。

最後になりましたが、本施設の完成にあたり、関係各位のご指導、ご理解、ご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げます、挨拶いたします。

平成27年1月



施設概要

- 事業主体：東部清掃施設組合
- 施設名称：東部清掃施設組合 汚泥再生処理センター
- 所在地：沖縄県中頭郡西原町字小那覇964番地
- 処理方式：固液分離・希釈方式
- 処理能力：107kL/日
 - し尿 7kL/日
 - 浄化槽汚泥 100kL/日
 - 農業集落排水施設脱水汚泥 0.3m³/日
- 敷地面積：3,356m²
- 建築面積：685.69m²
- 延床面積：1,529.88m²
- 工期：平成24年12月～平成26年12月

放流水質

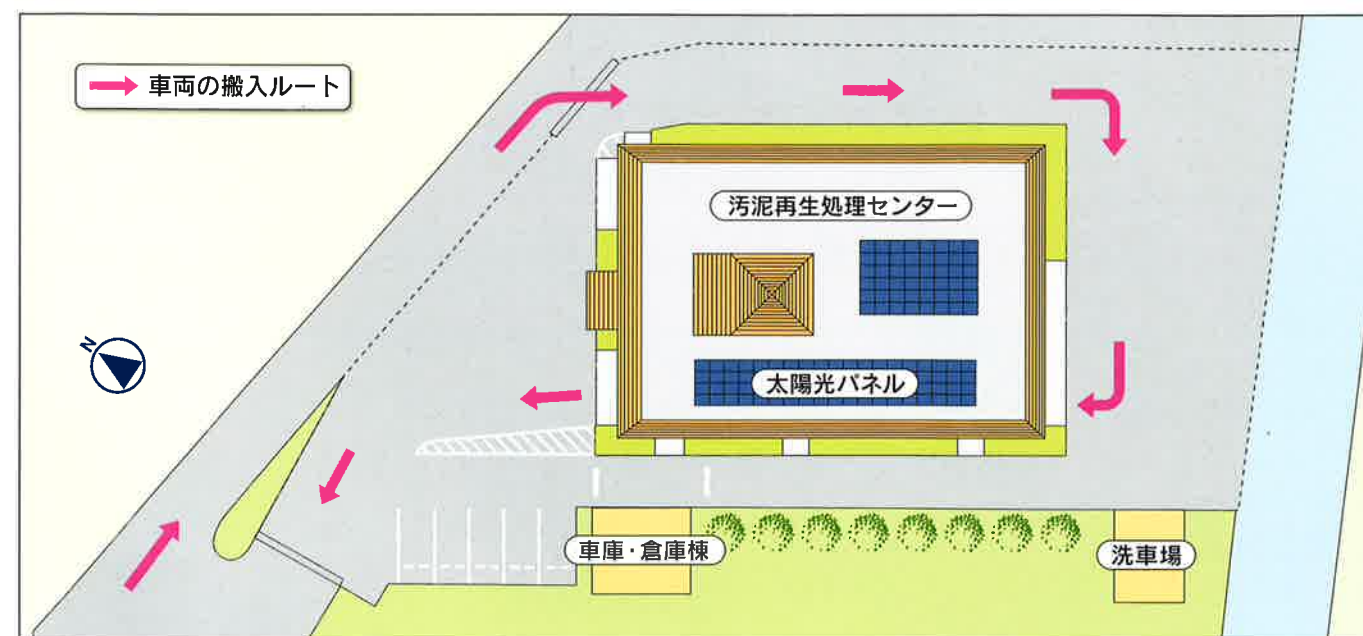


pH	5を超え9未満
BOD	600mg/L未満
SS	600mg/L未満

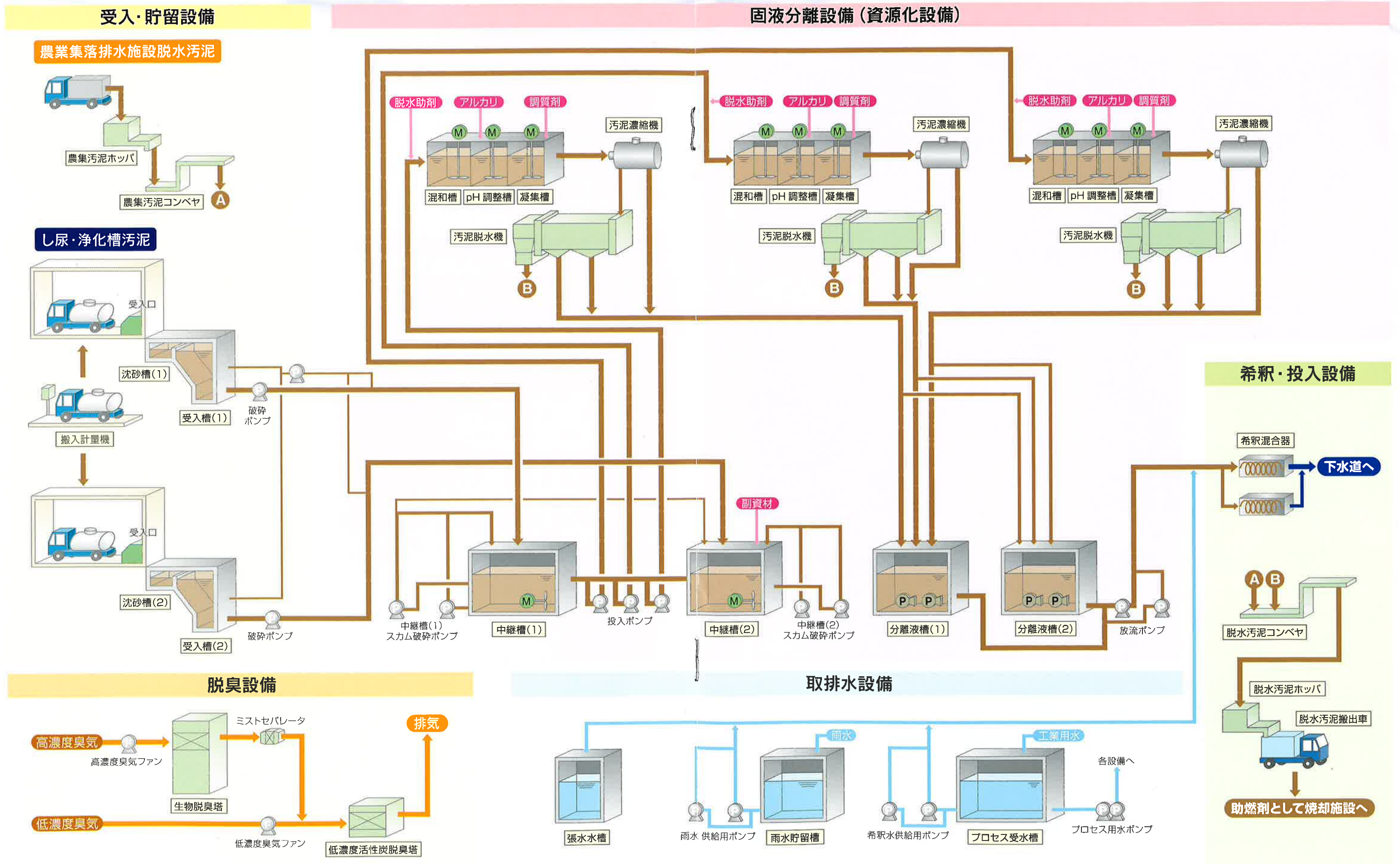
施設の特長

- 1 し尿と浄化槽汚泥を脱水したろ液を下水道に放流**
1日107kLのし尿と浄化槽汚泥を固液分離後、3～4倍程度に希釈し、下水道に放流します。
- 2 環境に配慮した設備**
高効率の生物脱臭方式と活性炭吸着方式を組み合わせた脱臭システムの採用により、臭気対策も万全です。
- 3 中央集中監視による運転管理**
効率的で確実な施設管理を行うため、各機器を自動制御し、運転データを自動で収集・記録します。
- 4 資源化の取り組み**
処理工程より発生する汚泥は脱水機により含水率70%以下まで脱水し、助燃剤として焼却施設で再利用します。

施設配置図



し尿と浄化槽汚泥は破碎・脱水し、その脱水分離液を希釈して下水道に放流します。
脱水した汚泥は、助燃剤として焼却施設で再利用します。



受入から放流まで、水処理設備の適切な運営・管理に努めます。

受入・貯留設備

し尿・浄化槽汚泥は、受入室の受入口から投入され、砂・小石等を沈降分離した後、破砕ポンプにより中継槽へ移送されます。



■搬入計量機



■受入室



■破砕ポンプ

固液分離設備 (資源化設備)

破砕処理後のし尿および浄化槽汚泥を、中継槽から投入ポンプで混和槽に送ります。その後、汚泥脱水機で助燃剤の条件となる含水率 70%以下まで脱水することにより、汚泥を減量化および助燃剤化します。脱水ろ液は分離液槽に、脱水汚泥はホツパへ移送されます。



■汚泥濃縮機



■汚泥脱水機



■処理室

希釈・投入設備

脱水分離液を下水道排除基準以下の水質まで希釈し、配管に取り付けた混合器内で攪拌させることで排水性状の平準化および下水道放流量の調整を図ります。脱水汚泥は焼却施設へ運ばれ、助燃剤として再利用されます。



■希釈混合器



■脱水汚泥ホツパ

脱臭設備

受入槽、中継槽、脱水機等から発生する高濃度臭気は、薬品を使用せず、微生物を活用した生物脱臭処理を行います。受入室等から発生する低濃度臭気は、生物脱臭処理をした臭気とともに活性炭吸着処理にて脱臭処理を行います。



■生物脱臭塔



■低濃度活性炭脱臭塔

中央監視室

中央監視室では、全ての設備を集中監視しています。監視画面には各機器の状態が表示され、各設備の運転状況などが監視されています。



水質監視機器

放流水の水質分析を行い、安定した処理が行われているかを監視をしています。

